

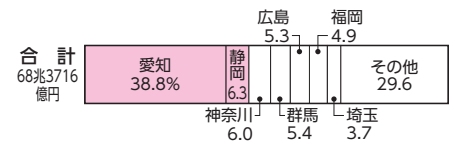
1. 繊維工業から自動車工業へ

- (1) 名古屋市を中心とした地域で行われている産業について、時代ごとにまとめてみよう。

江戸時代	第二次世界大戦の前後	現在
(例) 周辺の農村で綿花の栽培が行われ、繊維工業が発展した。	(例) 織物機械を作る技術が土台にして、自動車の生産が始まり、第二次世界大戦後に大きく発展した。	(例) 内陸部の自動車工場と臨海部の重化学工業が一体となって発展し、日本最大の工業地帯になっている。

- (2) 資料Ⅰのうち、中部地方の都道府県を赤色で着色してみよう。

資料Ⅰ 輸送機械工業の出荷額

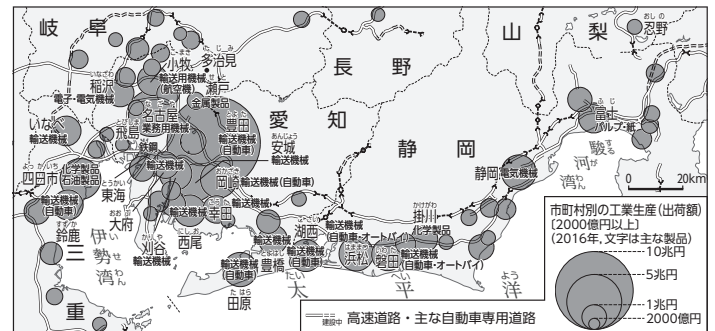


2. 日本最大の工業地帯

- (1) 資料Ⅱから、名古屋市を中心とする地域では、輸送機械以外にどのような工業製品が作られているのか読み取ってみよう。

(例) 鉄鋼、石油製品、化学製品、電気機械、ロケット など

資料Ⅱ 主な工業と出荷額



- (2) 伊勢湾沿岸に形成された工業の盛んな地域を何といいますか。

中京工業地帯

- (3) 生産された工業製品は、どのような輸送ルートで出荷されているか調べてみよう。

(例) ・高速道路を使い国内各地へ運ばれる。
・港や空港から国内や海外へ運ばれる。

3. 結び付きを強める名古屋大都市圏

- (1) 名古屋大都市圏の範囲を説明してみよう。

(例) 名古屋市と結び付きの強い、愛知県から三重県北部・岐阜県南部にかけての地域。

- (2) 名古屋大都市圏の特色を、名古屋大都市圏の位置と交通網から考えてみよう。

(例) 東京と大阪のほぼ中間にあり、東海道新幹線や東名高速道路・名神高速道路、中部国際空港などでさまざまな地域と結び付いている。

本時のまとめ

◆ 名古屋を中心とした地域で自動車工業が発展した理由を説明しよう。

(例) 江戸時代に盛んだった綿花栽培から発展した繊維工業で、織物を作る機械の技術を生かして自動車の生産が始まり、周辺の部品工場や製鉄所などと結び付いて発展した。